

◎第2学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭でも取り組んでいただくと嬉しいです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○学力調査によると、基礎項目については、目標値を上回っている。「書く能力」の正答率は、全国平均よりも約3%高い。 ●「読む能力」の正答率が全国平均よりも約2%下回っている。	・物語文や説明文の読み取りでは、時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を読み取り、的確な答えを出せるよう指導する。 ・引き続き「漢字」「音読」などの基礎基本を徹底し、しっかりと身に付けさせる。 ☆家庭では、音読の時間を設け、子供の音読の成果についてお話ししてください。	
算数	○学力調査によると、基礎学力については、目標値を上回っている。特に「3つの数の計算」「長さ」の正答率は全国平均を上回っている。 ●活用項目の正答率が、全国平均よりも約3%下回っている。	・計算ドリルを活用し、引き続き計算力を高められるようにしていく。 ・授業中に文章題を多く取り入れ、読み取った内容を考える機会を多く取り入れる。 ☆生活の中で使える算数（長さ、時刻と時間、水のかさなど）を意識し、活用してください。	
生活	○身近な自然や人々と進んでかかわり、交流したり活動したりすることができている。 ●楽しく活動したり観察したりして、いろいろなことに気付くことができるが、活動の様子や気付きを自分なりに工夫して表現することが課題である。	・体験を通して気付きの視点を与えて表現活動に取り組む学習を充実させる。 ・互いの活動の様子を伝え合う活動を取り入れ、体験から考えたことや感じたことを表出する場を設定する。 ☆自然や身近な材料を使った遊びや活動などの体験を親子でたくさんしてみてください。お子さんのよい発見や工夫は、たくさんほめてあげてください。	
音楽	○音楽を形づくっている要素の働きを感じながら、楽しく音楽表現活動に取り組むことができ、音楽に対する興味・関心をもっている。 ●器楽の鍵盤ハーモニカの学習では、運指など技能面でのつまずきを感じている児童たちが見られ、適切な練習方法で、継続的に取り組むことが難しい。	・拍の流れにのって、歌ったり、リズムを打ったり、演奏したり、音楽をよく聴き感じ取ったことを体の動きで表したりするなど、多様な音楽活動を通して、音楽に親しむようにする。 ・音程に気を付けて階名で歌い、鍵盤ハーモニカで短い旋律を吹くなどの、基礎的な積み重ね学習においては、必要に応じて補充学習も行い指導する。 ☆楽器を持ち帰った時は、学習している曲を聴き、息遣いや運指、音色の美しさなど、よい所を認めてあげましょう。また、思うように演奏できない場合は、助言をお願いします。保護者の方と一緒に、繰り返し練習する時間をつくりましょう。	
図工	○自分の思いを表すことに意欲的に取り組む。 ●着色の工夫、正しい接着の方法など基礎的な技能を活用する力が十分ではない。	・活動のねらいを理解し見通しをもって取り組むことができるような計画立案の時間を設定する。 ・既習の技術を活用して作品づくりに取り組めるように単元構成を充実させる。 ☆表したいことをしっかり表現することができたか、作品について話を聞いてみてください。また、身近な美術作品を見た時や身の回りのものに触れた時に感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合ってください。	
体育	○体力テストによると「上体起こし」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」は、男女ともに全国平均を上回っている。 ●「反復横跳び」「ソフトボール投げ」「握力」は、男女ともに全国平均を下回っている。 ●経験の差が運動能力の差になっている児童が多い。	・鬼遊びを体育の授業の始めに取り入れ、走力を高めるようにする。 ・敏捷性を高めるために、ジグザグ走・号令による前後左右のステップや足の踏みかえなどの運動をリラックスさせながら短時間で集中的に行う。また、垂直とび、ケンケンなども取り入れていく。 ☆元気に外遊びができるように声かけをしてください。時々、親子で公園に出かけ、一緒に体を動かして遊び、いろいろな運動遊びを経験させてあげてください。	